MODELLISTA

MSD15－42004
オーバーフェンダー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ オーバーフェンダーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、 正しい取り付け、 取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MSD15-42004	素材色(シボ)	RAV4	

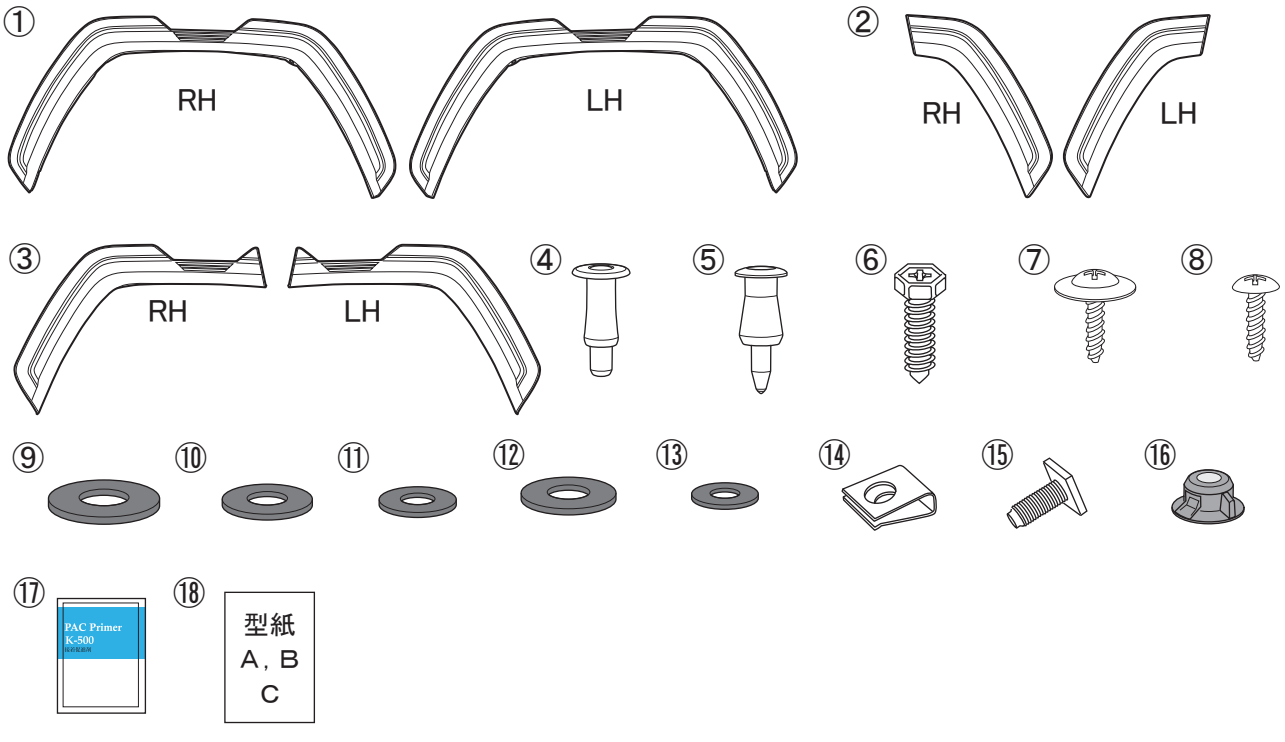
・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。 https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

No.	品 名	品 番	個数	備 考
①	フロントピース （RH/LH）	MSD15-42H01(RH) MSD15-42H02(LH)	各1	
②	リヤドアピース （RH/LH）	MSD15-42H03(RH)	各1	
③	リヤフェンダーピース （RH/LH）	MSD15-42H04(LH)	各1	
④	クリップA	――――	2	
⑤	クリップB	――――	2	
⑥	タッピングスクリューA	――――	2	6×20
⑦	タッピングスクリューB	――――	2	4×16 ワッシャー付き
⑧	タッピングスクリューC	――――	4	4×16
⑨	ワッシャーA	――――	4	外径φ18、 内径φ8、t=1.0
⑩	ワッシャーB	――――	2	外径φ13、 内径φ6、t=1.0
⑪	ワッシャーC	――――	4	外径φ11、 内径φ4、t=1.0
⑫	ラバーワッシャーA	――――	6	外径φ20、 内径φ12、t=2.0
⑬	ラバーワッシャーB	――――	6	外径φ16、 内径φ8、t=1.0
⑭	Jナット	――――	4	
⑮	スクエアヘッドボルト	――――	2	
⑯	クリップナット	――――	2	
⑰	PAC プライマー	08867-00230	1	K-500
⑱	型紙A、B、C（RH/LH）	――――	1	

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。
※①、②、③の品番にはリペアパーツ（MSD80-42H32）を含みます。

■ 構成部品図



■ 補給品

□ リペアパーツセット（補給専用）

品 番	備 考
MSD80-42H32	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱、 及び両面テープセット同梱

※本品は補給専用のため、 MSD15-42004 には付属しておりません。

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ **やってはいけないこと**　　❗ **必ず行なっていただくこと**

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ 本商品の装着により、タイヤハウスとの隙間が小さくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

⃠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．補給品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・４
４．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・５
５．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～１５
６．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
７．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

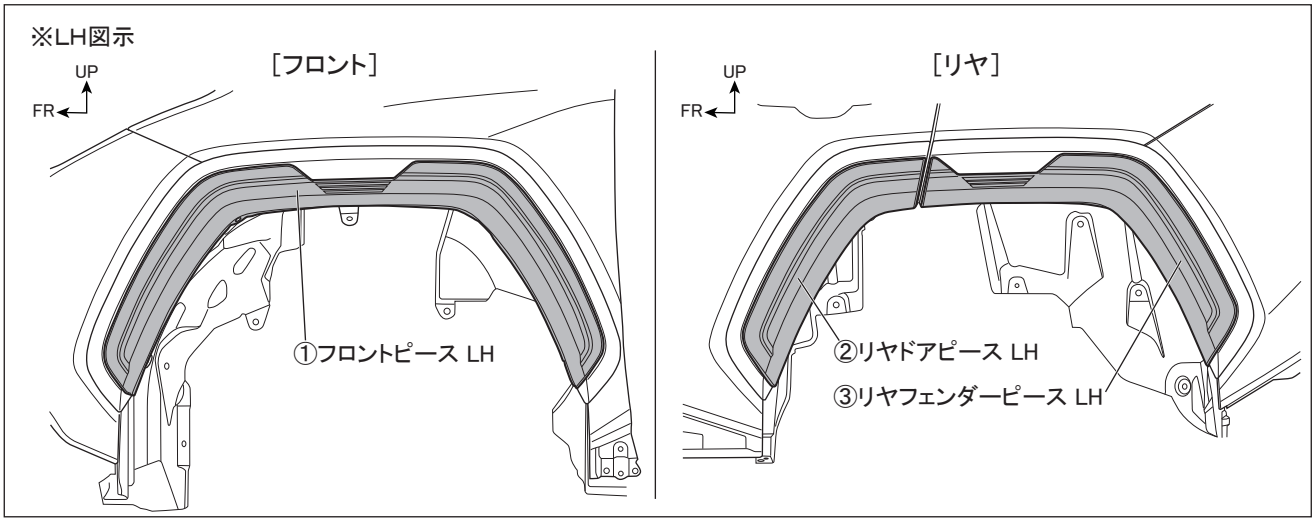
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３．０mm/５．０mm/６．０mm/１０．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・養生テープ・マスキングテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

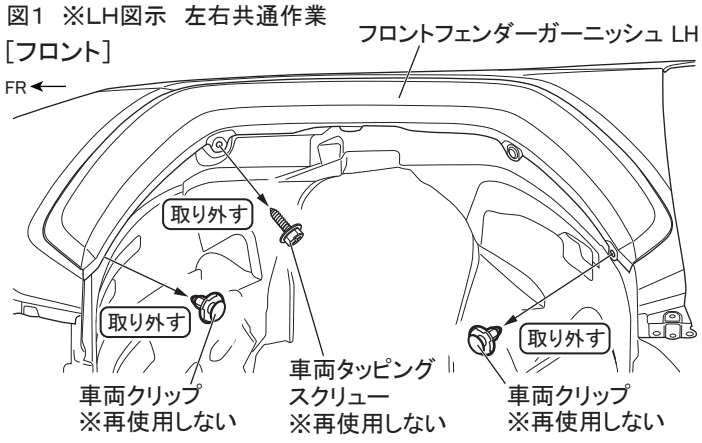


■ 取付準備、 取付要領

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□オーバーフェンダー取付準備

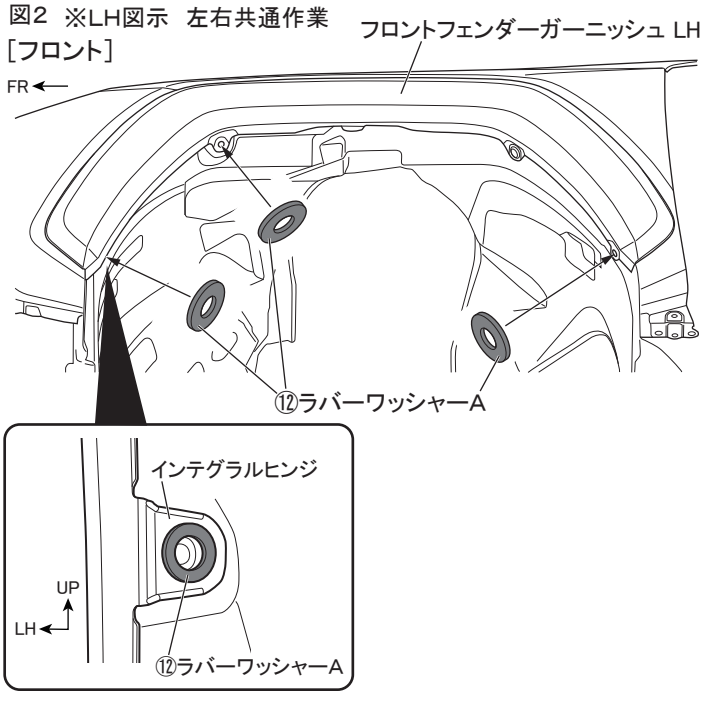
図1 ※LH図示 左右共通作業
［フロント］



1. 図1のようにフロントフェンダーガーニッシュ、 インナーフェンダーの左図位置の車両クリップ（左右各2箇所）、 車両タッピングスクリュー（左右各1箇所）を取り外す。

⚠注意 : 取り外した車両クリップ、 車両タッピングスクリューは再使用しません。

図2 ※LH図示 左右共通作業
［フロント］



2. 図2のようにフロントフェンダーガーニッシュの穴位置に合わせて⑫ラバーワッシャーAを貼り付ける。（左右各3箇所）
その際、 貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意 : 車両の穴とラバーワッシャーの穴が被らないように注意して貼り付けてください。

3. 図3のようにフロントフェンダーガーニッシュのキャラクターラインを基準に①フロントピースの取り付け高さ位置をマスキングテープでマーキングする。

図3 ※LH図示 左右共通作業

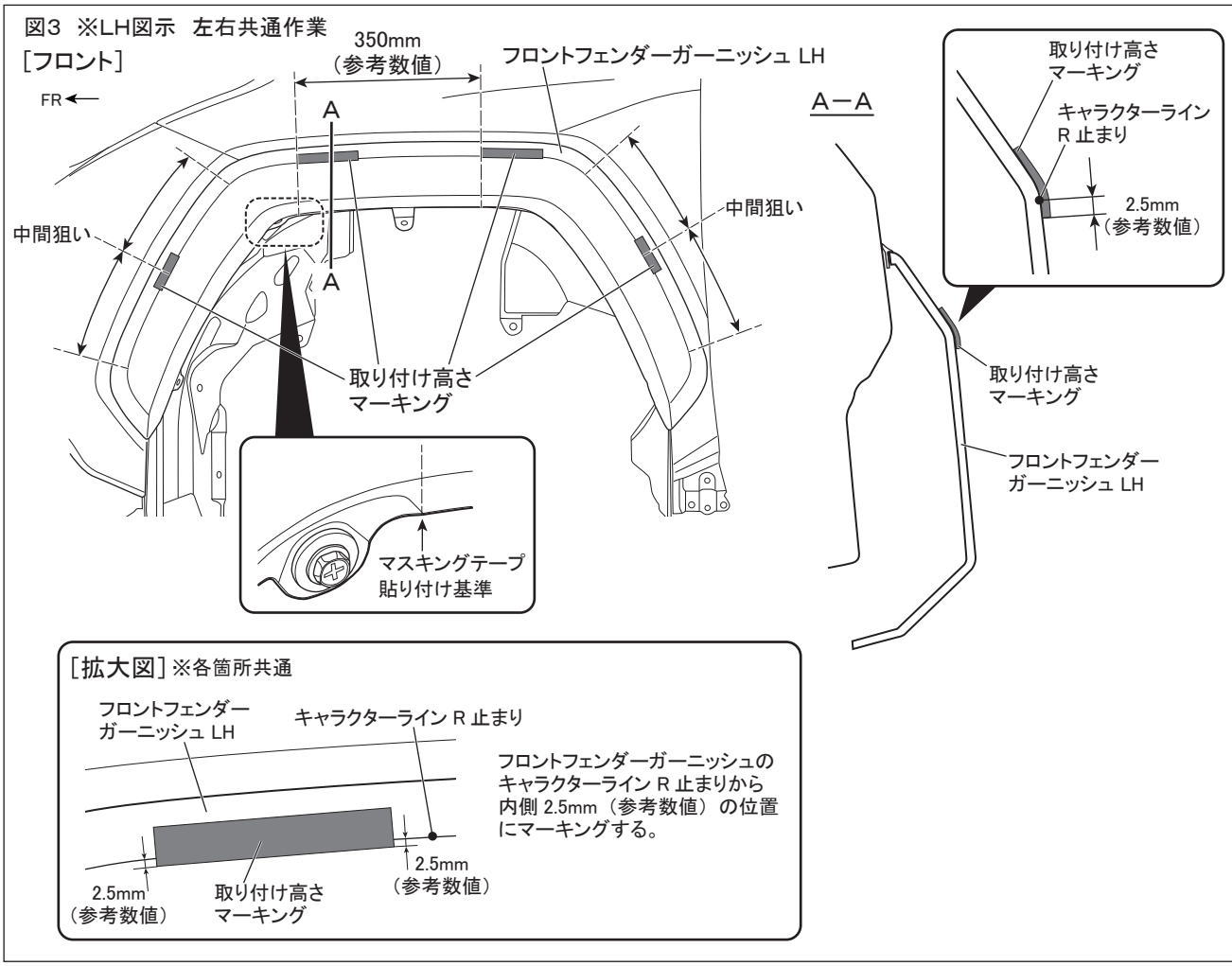
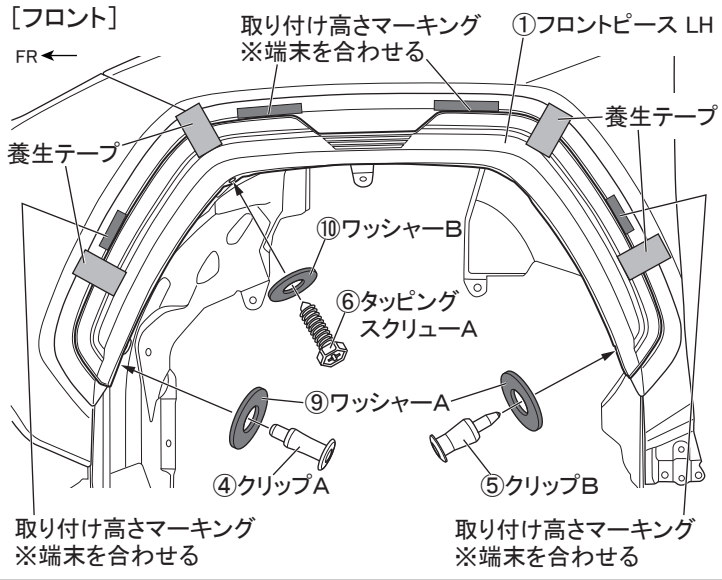
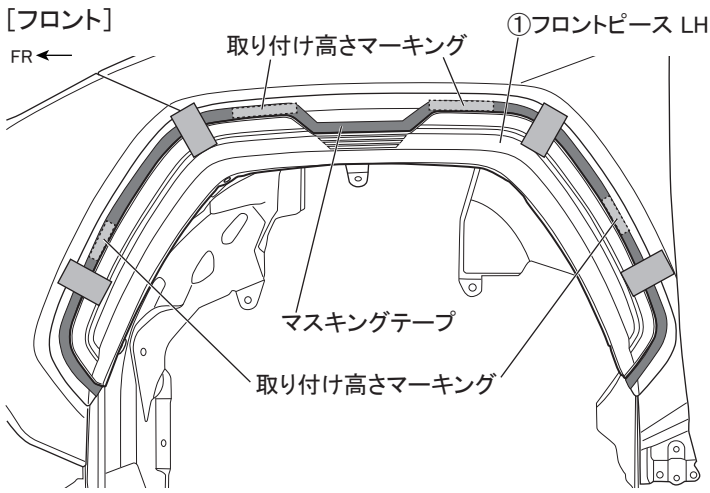


図4 ※LH図示 左右共通作業



4. 図4のように取り付け高さマーキングに①フロントピース端末を合わせて車両にあて、⑥タッピングスクリューA、⑩ワッシャーB（左右各1箇所）で仮締めし、④クリップA、⑨ワッシャーA（左右各1箇所）、⑤クリップB、⑨ワッシャーA（左右各1箇所）で固定し養生テープで仮固定する。定し養生テープで仮固定する。

図5 ※LH図示 左右共通作業

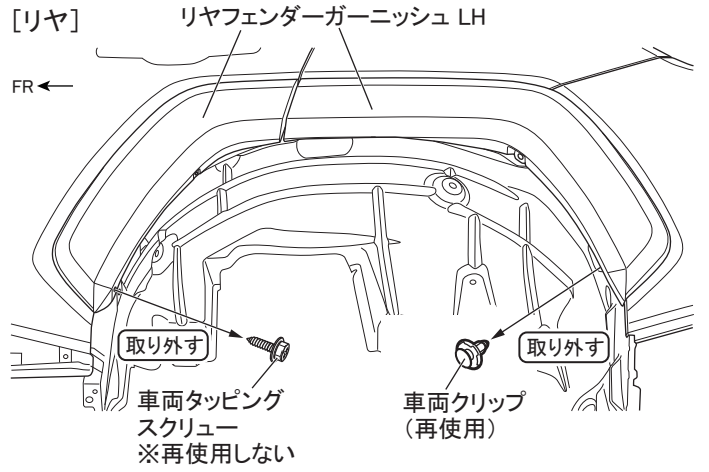


5. 図5のように①フロントピース端末に合わせて車両にマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

6. ①フロントピースを取り外す。

図6 ※LH図示 左右共通作業



7. 図6のようにリヤフェンダーガーニッシュ、インナーフェンダーの左図位置の車両クリップ（左右各1箇所）、車両タッピングスクリュー（左右各1箇所）を取り外す。

⚠注意 : 取り外した車両タッピングスクリューは再使用しません。

⚠注意 : 取り外した車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

8. 図7のように車両リヤフェンダーガーニッシュに⑱型紙A、B、Cを貼り付ける。（左右各3箇所 ）

図7 ※LH図示 左右共通作業

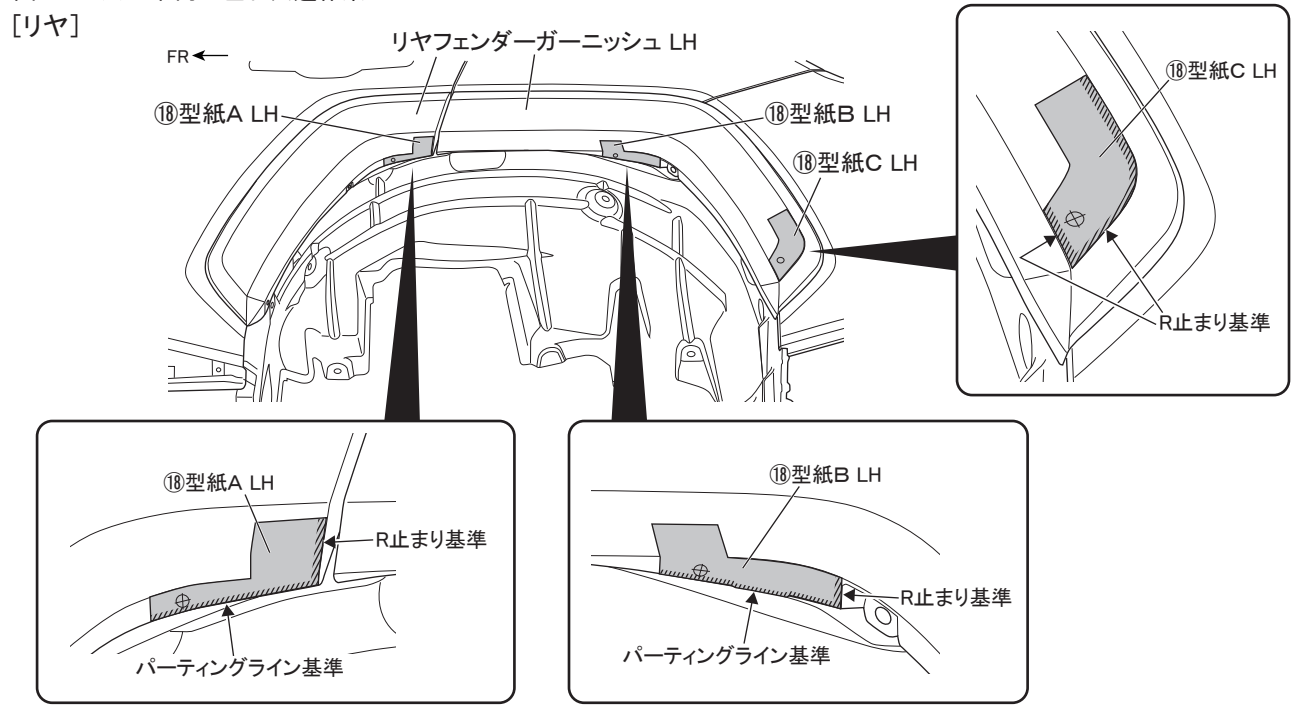
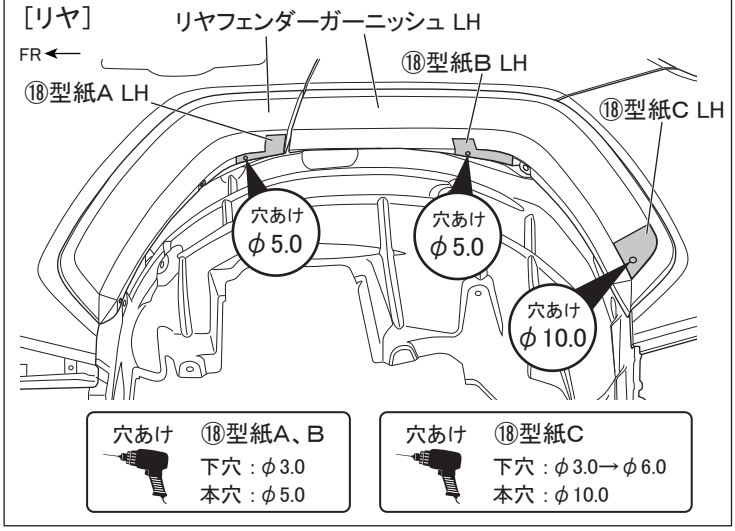


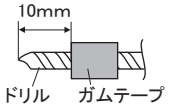
図8 ※LH図示 左右共通作業



9. 図8のように車両リヤフェンダーガーニッシュの⑱型紙A、Bの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0 であけ、φ5.0 の本穴をあける。（左右各2箇所）

10. 図8のように車両リヤフェンダーガーニッシュの⑱型紙Cの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ10.0 の本穴をあける。（左右各2箇所）

アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



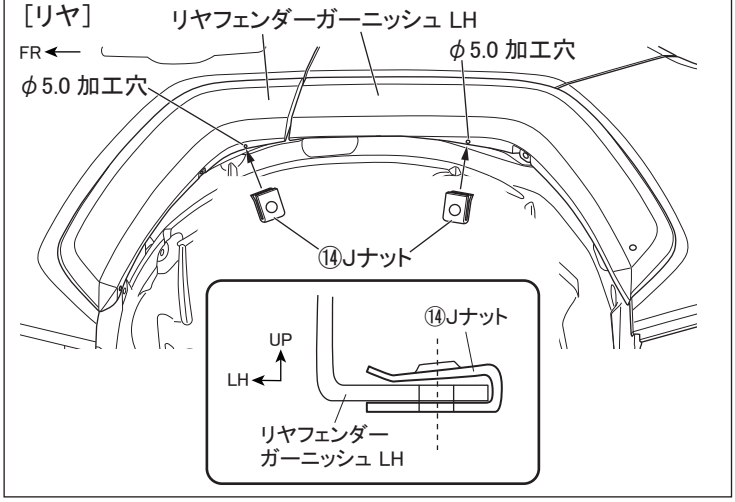
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：穴あけ加工時、集塵機等を使用して切り粉を吸いながら行ってください。

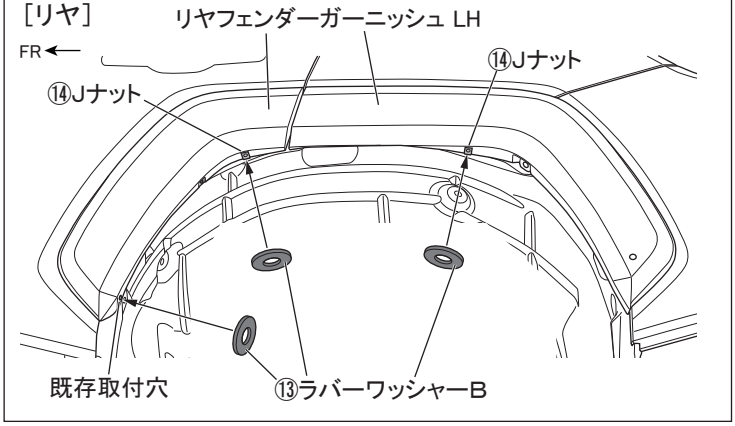
11. ⑱型紙A、B、C剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（左右各3箇所）

図9 ※LH図示 左右共通作業



12. 図9のように車両リヤフェンダーガーニッシュのφ5.0 加工穴に合わせて⑭Jナットを取り付ける。（左右各2箇所）

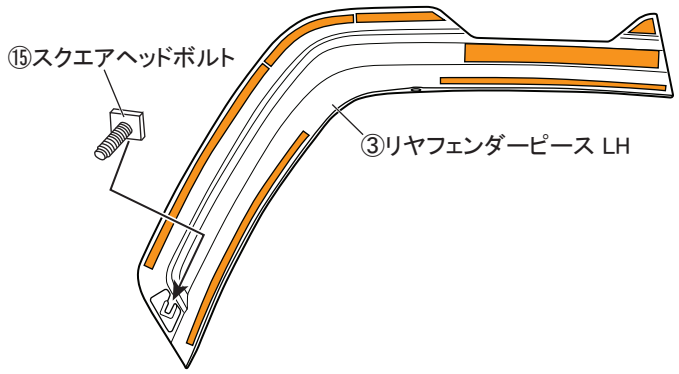
図 10 ※LH図示 左右共通作業



13. 図 10 のようにリヤフェンダーガーニッシュ既存取付穴（左右各1箇所）、⑭Jナットの穴位置（左右各2箇所）に合わせて⑬ラバーワッシャーBを貼り付ける。
その際、貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：車両の穴とラバーワッシャーの穴が被らないように注意して貼り付けてください。

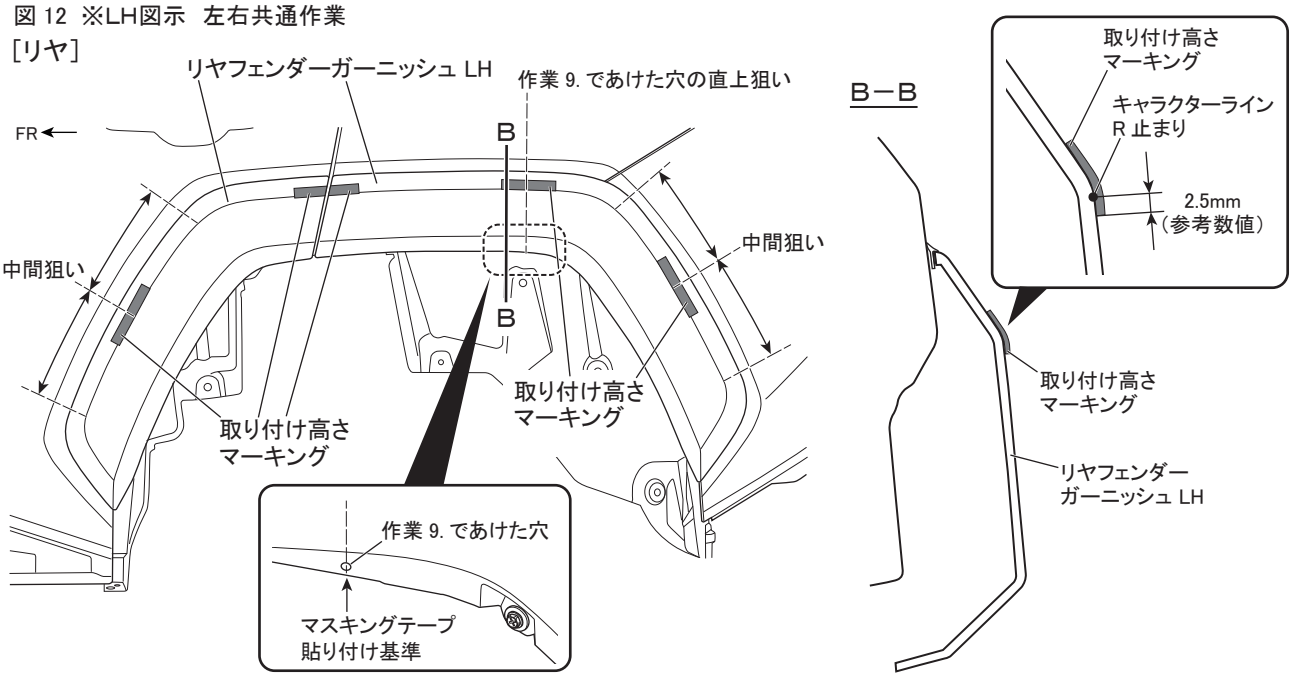
図 11 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

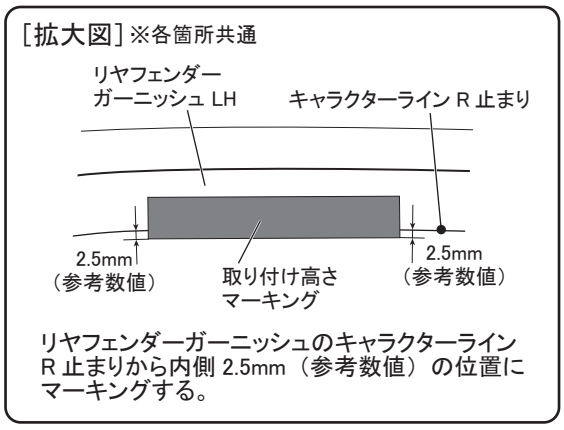


14. 図 11 のように③リヤフェンダーピース裏面に⑮スクエアヘッドボルトを取り付ける。
（左右各1箇所）

15. 図 12 のようにリヤフェンダーガーニッシュのキャラクターラインを基準に②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの取り付け高さ位置をマスキングテープでマーキングする。

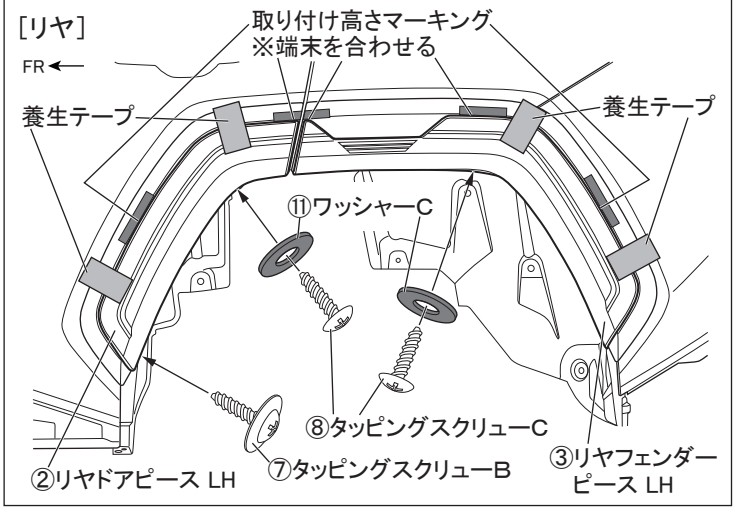
図 12 ※LH図示 左右共通作業





リヤフェンダーガーニッシュのキャラクターライン R 止まりから内側 2.5mm（参考数値）の位置にマーキングする。

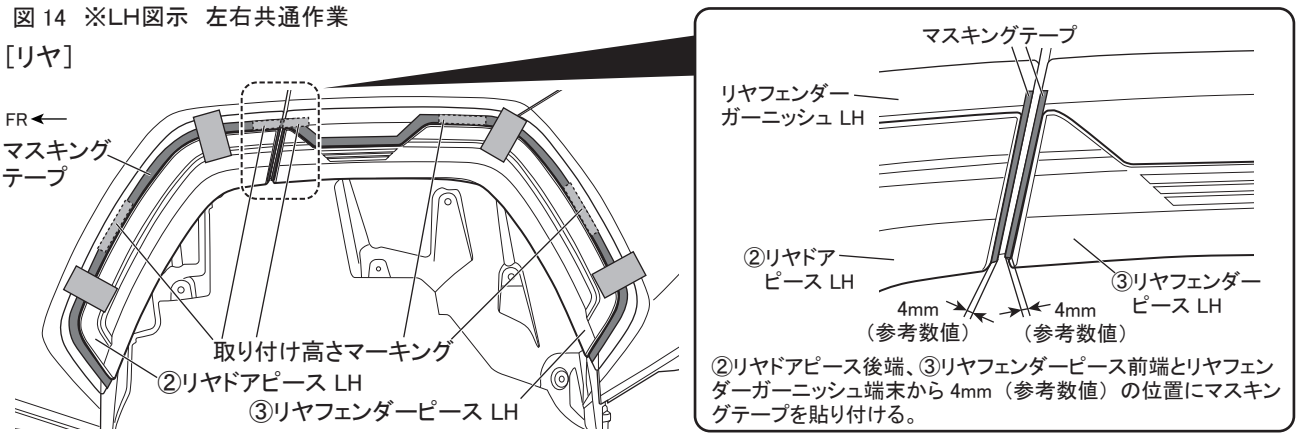
図 13 ※LH図示 左右共通作業



16. 図 13 のように取り付け高さマーキングに②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース端末を合わせて車両にあて、⑦タッピングスクリューB（左右各1箇所）、⑧タッピングスクリューC、⑪ワッシャーC（左右各2箇所）で仮締めし、 養生テープで仮固定する。
その際、③リヤフェンダーピースに取り付けた⑮スクエアヘッドボルトをリヤフェンダーガーニッシュの φ10.0 加工穴に通す。

17. 図 14 のように②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース端末に合わせて車両にマスキングテープを貼り付ける。

図 14 ※LH図示 左右共通作業

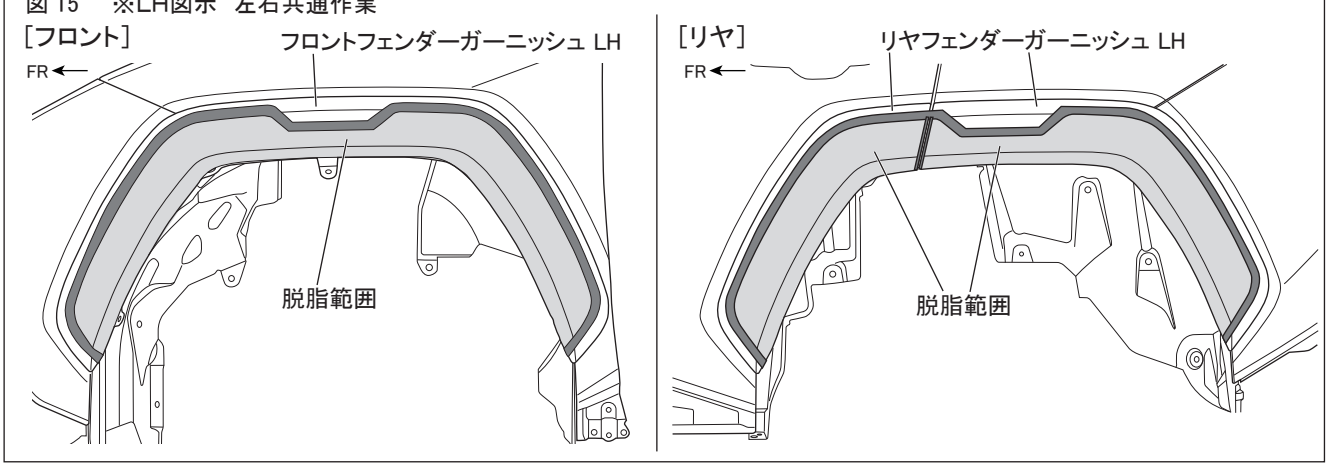


⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

18. ②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースを取り外す。

19. 図 15 のように①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 15 ※LH図示 左右共通作業

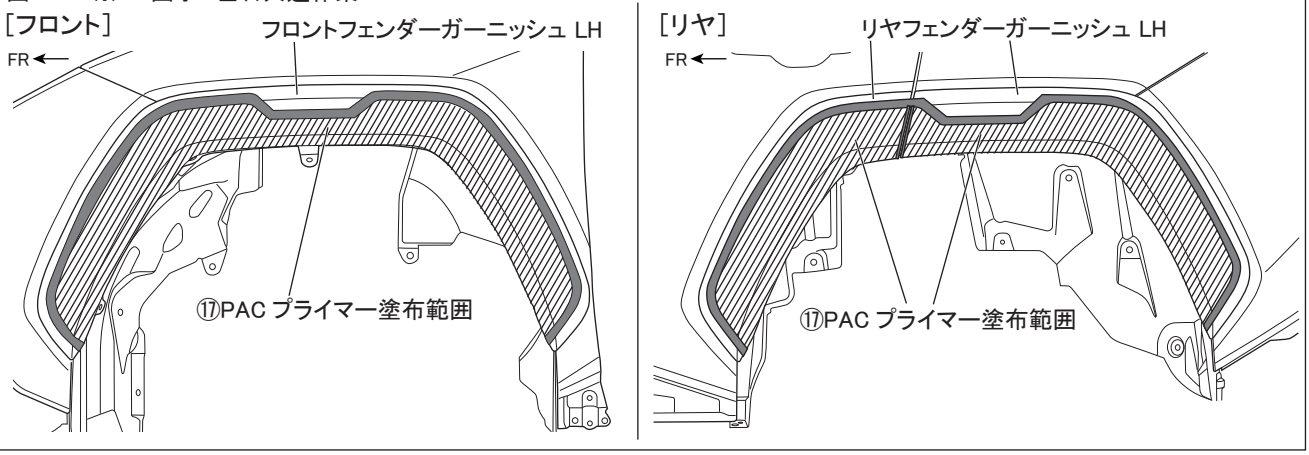


⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

アドバイス : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

20. 図 16 のように①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの両面テープ貼り付け部（下図斜線部）に⑰PAC プライマーを塗布する。

図 16　※LH図示　左右共通作業

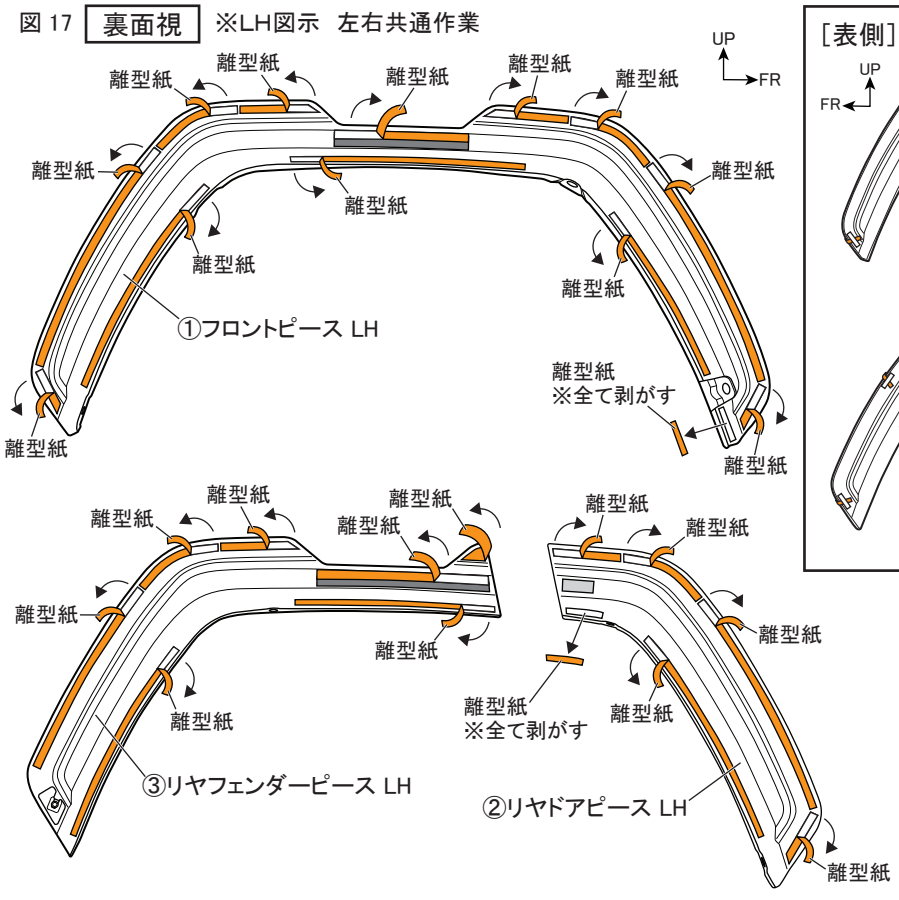


⚠注意 : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにイソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

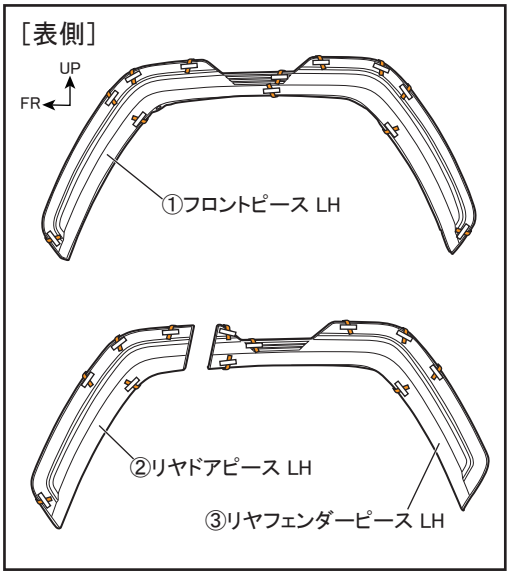
21. マスキングテープを剥がす。
※取り付け高さマーキングは剥がさないでください。

22. 図 17 のように①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピース裏側の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30～50mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
・①フロントピース：左右各12箇所、 全剥がし左右各1箇所
・②リヤドアピース：左右各5箇所、 全剥がし左右各1箇所
・③リヤフェンダーピース：左右各7箇所

図 17　裏面視　※LH図示　左右共通作業

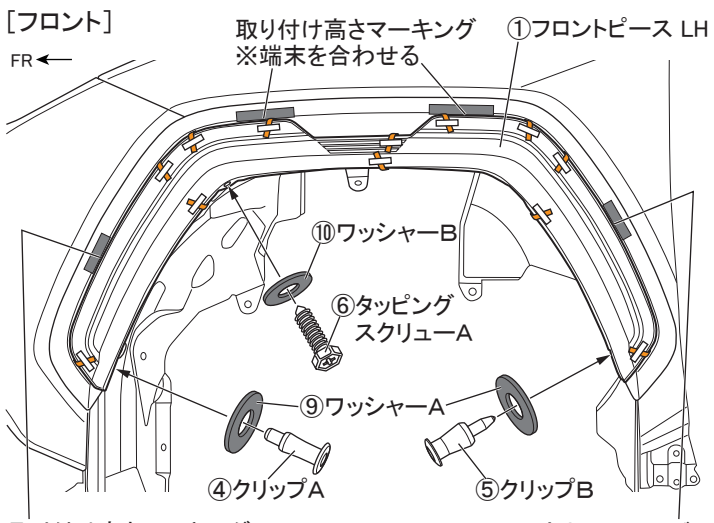


[表側]



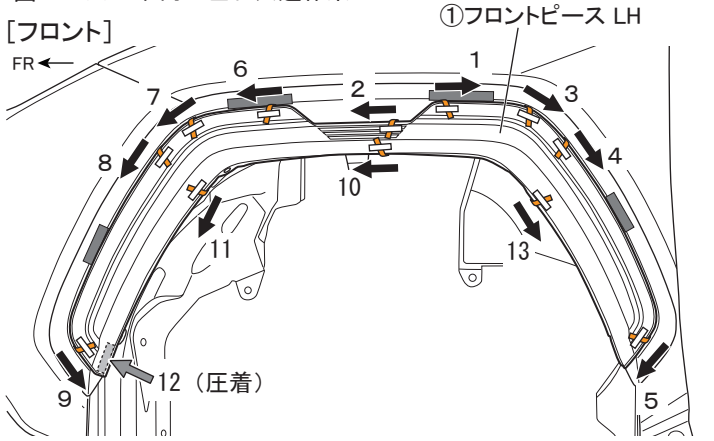
□オーバーフェンダー取付要領

図 18 ※LH図示 左右共通作業



1. 図 18 のように取り付け高さマーキングに①フロントピース端末を合わせて車両にあて、⑥タッピングスクリューA、⑩ワッシャーB（左右各1箇所）で仮締めし、④クリップA、⑨ワッシャーA（左右各1箇所）、⑤クリップB、⑨ワッシャーA（左右各1箇所）を取り付け、 仮固定する。

図 19 ※LH図示 左右共通作業



2. 図 19 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各13箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

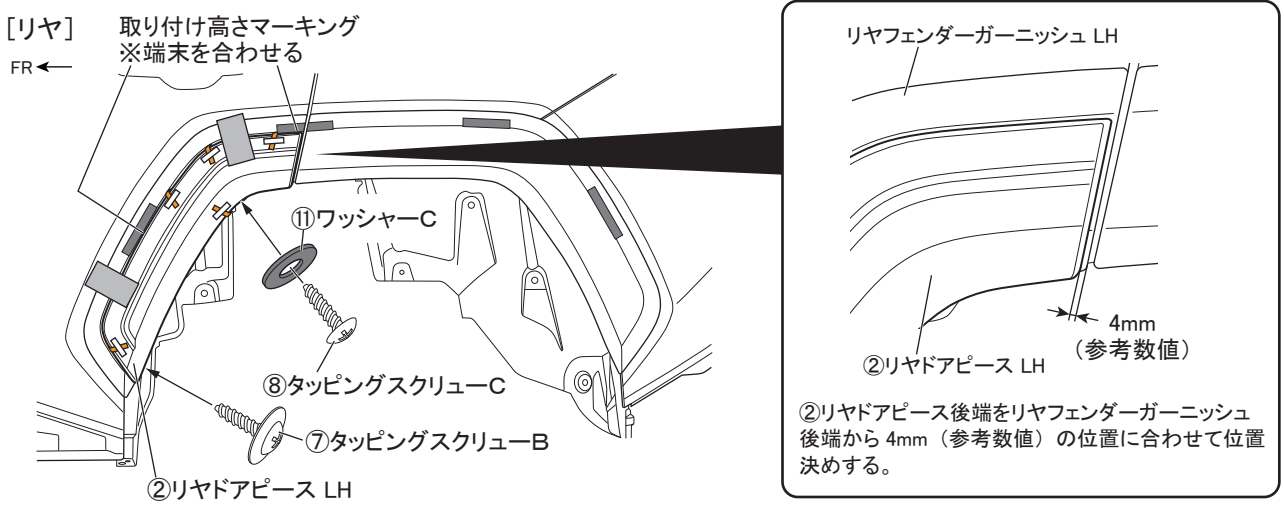
アドバイス：取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

アドバイス：離型紙を引き抜く際に途中で切れないように注意してください。

アドバイス：両面テープの圧着は、49N(5kgf)以上の力で行ってください。

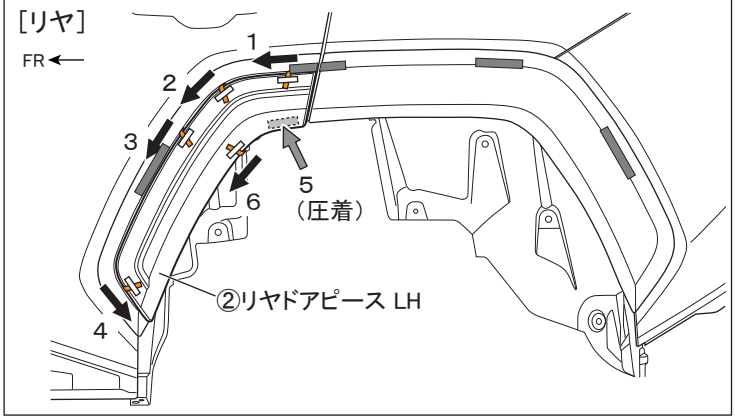
3. 図 20 のように取り付け高さマーキングに②リヤドアピース端末を合わせて車両にあて、⑦タッピングスクリューB（左右各1箇所）、⑧タッピングスクリューC、⑪ワッシャーC（左右各2箇所）で仮締めする。

図 20 ※LH図示 左右共通作業



②リヤドアピース後端をリヤフェンダーガーニッシュ後端から 4mm（参考数値）の位置に合わせて位置決めする。

図 21 ※LH図示 左右共通作業



4. 図 21 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各6箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

アドバイス：取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

アドバイス：離型紙を引き抜く際に途中で切れないように注意してください。

アドバイス：両面テープの圧着は、49N(5kgf)以上の力で行ってください。

5. 図 22 のように取り付け高さマーキングに③リヤフェンダーピース端末を合わせて車両にあて、⑪ワッシャーC（左右各2箇所）で仮締めする。
その際、③リヤフェンダーピースに取り付けた⑮スクエアヘッドボルトをリヤフェンダーガーニッシュの φ10.0 加工穴に通す。

図 22 ※LH図示 左右共通作業

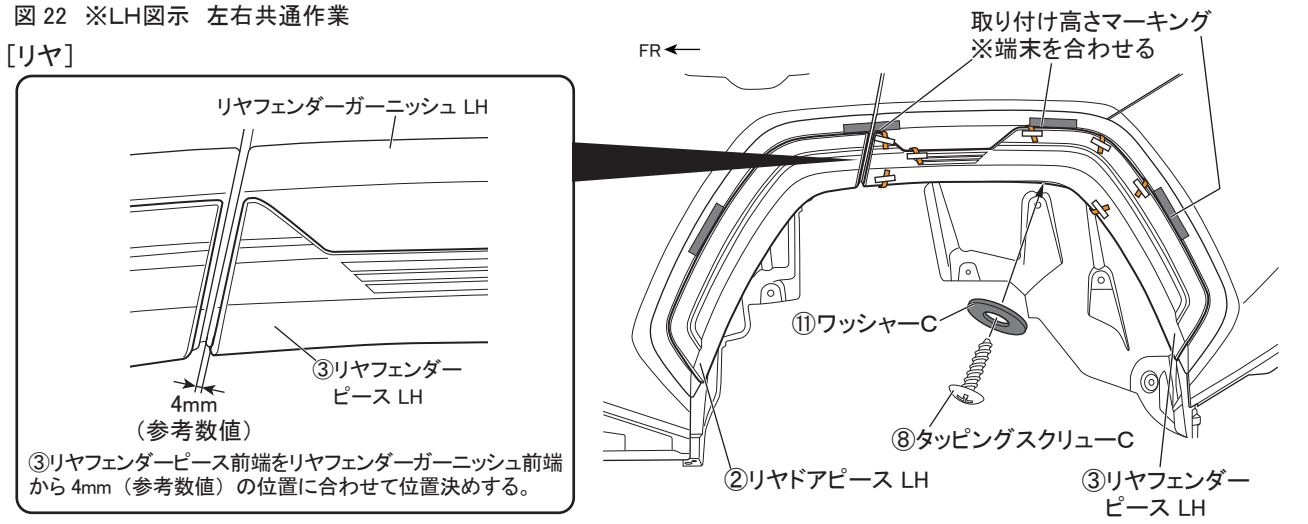
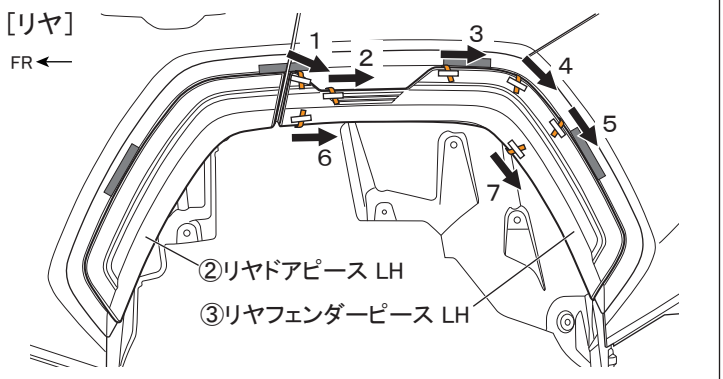


図 23 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 23 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各7箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

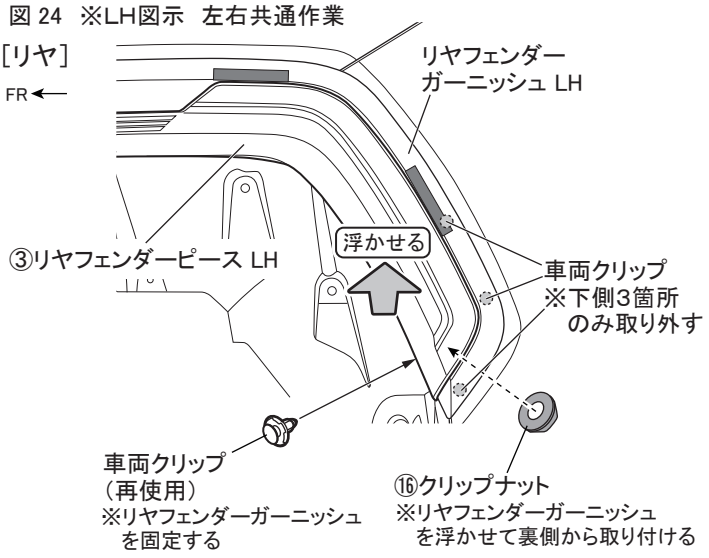
アドバイス：取り付け時に位置が下がらないように製品を車両側へ少し押し上げながら行ってください。

アドバイス：離型紙を引き抜く際に途中で切れないように注意してください。

アドバイス：両面テープの圧着は、49N(5kgf)以上の力で行ってください。

7. ①フロントピース、②リヤドアピース、③リヤフェンダーピースの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

図 24 ※LH図示 左右共通作業



8. 図 24 のように車両リヤフェンダーガーニッシュの図示クリップを3箇所のみ取り外し、後下端部を浮かせ、裏側から⑯クリップナットを取り付けて本締めする。（左右各1箇所）
本締め後、車両クリップ（左右各4箇所）を再締結してリヤフェンダーガーニッシュを復元する。

⚠注意：車両リヤフェンダーガーニッシュのクリップは図示部3箇所のみ取り外してください。
図示部以外のクリップは絶対に取り外さないでください。

9. 取り付け高さマーキングを剥がし（左右各2箇所）、仮締めした全ての⑥タッピングスクリューA、⑦タッピングスクリューB、⑧タッピングスクリューCを本締めする。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

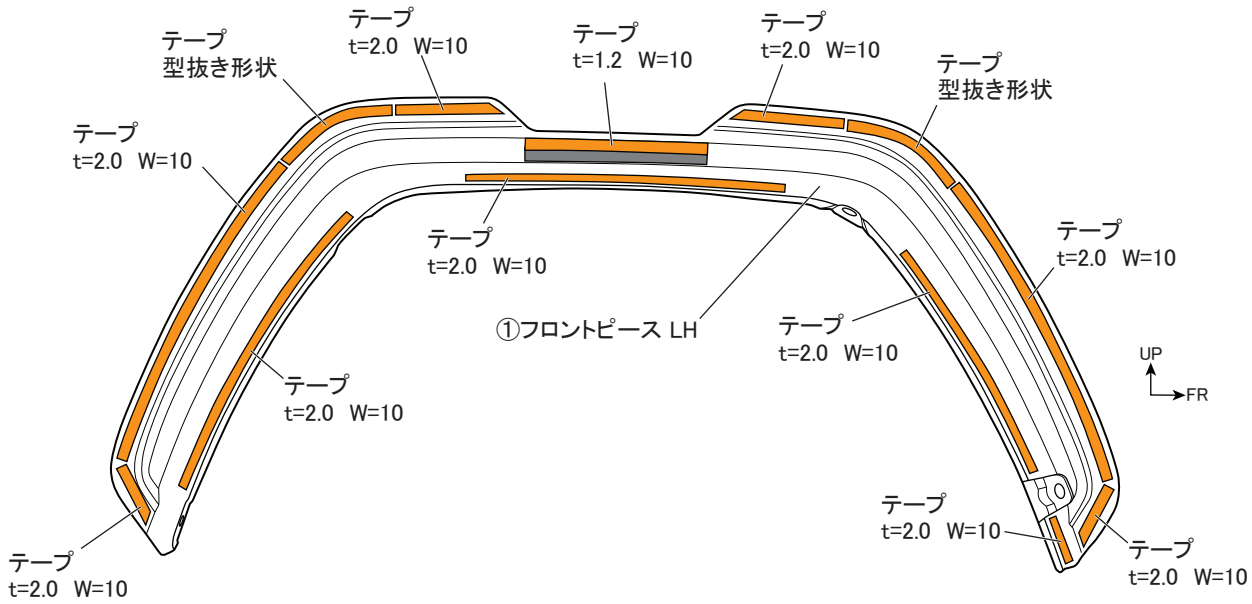
■取付完了後の点検・注意事項

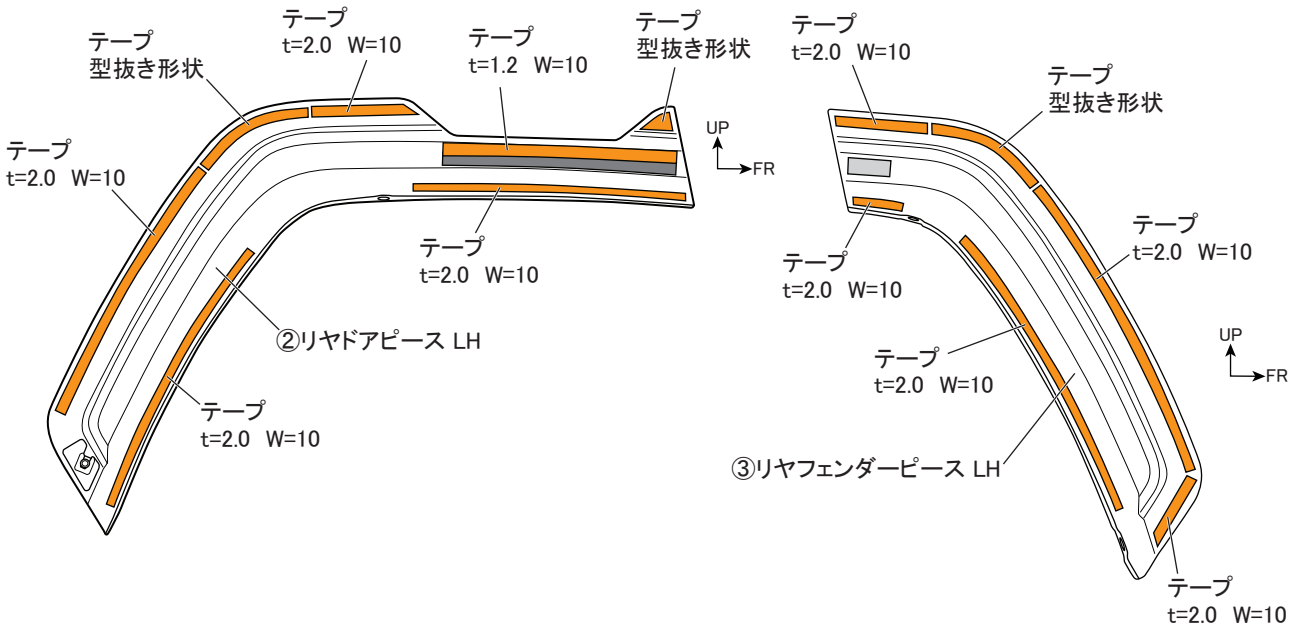
1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びオーバーフェンダー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してオーバーフェンダーの再取り付けを行なう際は、 下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
   ※両面テープを貼り付ける際は、 貼り付け部を脱脂し、 プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。
   ※両面テープは製品裏面のケガキ基準で貼り付ける。

裏面視 ※LH図示 左右共通作業





株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA